

師範・道場責任者各位

極真拳武會 埼京支部

支部長 岩田 学

埼玉県児童福祉施設協議会 松山基金チャリティー

拳武チャレンジ ビギナーズ空手道選手権大会 出場選手募集について

拝啓

寒冷の候、時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。平素は格別のご厚誼にあずかり、厚く御礼申し上げます。この度、下記日程にて第5回 拳武チャレンジ空手道選手権大会を開催致します。皆様のお力添えを賜えますと幸甚でございます。別紙にて募集要項及び参加申込書を添付致しますのでご確認頂き、ご不明な点についてはお問い合わせ下さい。

記

敬具



日時： 2026年1月12日（祝月）

場所： BumB 東京スポーツ文化館

大会公式LINEアカウントへの
登録をお願いします！

時間： 2部制による 詳細は決定次第、大会公式LINEアカウントでお知らせ致します。

主催： 極真拳武會 埼京支部 大会実行委員会

【申込書、及び出場費について】 〆切 2025年12月8日(月)

①参加申込書を12月8日必着で郵送。

② 出場費は以下、12月12日（金）までに指定口座へ振込入金をお願い致します。

・ペイペイ銀行 ・本店営業部 ・4088637 ・ケンプチャレンジタイカイイワタマナブ

大会お問い合わせ 大会実行委員会 岩田 学

〒3360027 埼玉県さいたま市南区沼影 1-30-29

TEL 080-9204-0605

注1：施設駐車場は限りがあります。電車、もしくは最寄りのコインパーキングをご利用ください。

注2：体育館施設敷地内は全て禁煙です。喫煙トラブルが見られた場合、道場単位での出場をお断りする事があります。



【極真拳武會主催大会における個人情報および肖像権に関わる取扱いについて】

極真武道空手連盟 極真拳武會は、主催する各大会の参加申込書等を通じて取得される個人情報及び肖像権の取り扱いに関して以下のとおり対応します。

【大会申込書に記載された個人情報の取り扱い】

- ◆大会プログラムに掲載されます。
- ◆競技会場でアナウンス等により紹介されることがあります。
- ◆競技場内外の掲示板に掲載されることがあります。

【競技結果（記録）等に関する取り扱い】

- ◆認められた報道機関等により、新聞・雑誌及びホームページ等で公開されることがあります。
- ◆大会プログラム掲載の個人情報とともに、本会が作成するホームページ及び記録集等に掲載されます。
- ◆新記録、優勝及び上位入賞結果（記録）等は、次年度以降の大会プログラムに掲載されることがあります。

【肖像権に関する取り扱い】

- ◆認められた報道機関等が撮影した写真が、新聞・雑誌・大会報告書及び関連ホームページ等で公開されることがあります。

【極真武道空手連盟 極真拳武會としての対応について】

- ◆取得した個人情報を上記利用目的以外に使用されることはありません。
- ◆大会参加申込書の提出により、上記取り扱いに関するご承諾を頂いたものとして、対応させていただきます。

試合規約について

【試合時間】

- ① 大会で定められた規定時間を試合時間とする。

【勝敗】

- ① 型の勝者は「判定勝ち」、「失格」、「棄権」により決定される。
- ② 組手の勝者は「一本勝ち」、「技あり」2本による「合わせて一本勝ち」、「判定勝ち」、相手選手の「失格」、「棄権」、による勝ちにより決定される。
- ③ 本戦の試合で勝敗が決まらない場合は延長戦を行う。
- ④ 延長戦で決まらない場合は体重差（大会規定）もしくはマスト判定により勝者を決する。
- ⑤ 体重差でも決まらない場合は最終延長戦を行う。最終延長戦の試合時間は延長戦と同じ試合時間とする。

【一本勝ち】

- ① 反則箇所を除く部分へ、手技足技を瞬間的に決め、そのダメージにより3秒間相手選手をダウンさせたとき
- ② 高校生以下は上段に技が決まって倒れた場合は全て「一本勝ち」とする
- ③ 戦意を喪失させたとき。

【技有り】

- ① 反則箇所を除く部分へ、手技、足技を瞬間的に決め、そのダメージにより一時的に戦意を喪失させたとき。
- ② ヘッドギアを着用している試合はノーガードで相手選手の上段に足技が決まったときは、全て「技有り」とする。但し、その技が有効か不十分かは審判が判断する。（ヘッドギア未着用クラスはこの限りではない。）
- ③ 手掛け、掴みなどの反則が無く「足掛け」で相手を倒して下段突きを決めたとき。（「下段突き」は「見極め」を明確にするため瞬間的に止め、審判員が確認できるタイミングで引き手を取る、確認できないような引き手の取り方は「技有り」とならない時もある）。
- ④ 下段蹴りを決め、一挙動で転倒させ相手のバランスを崩した時（片膝や両手をつき対戦者を見失った状態）に下段突きを決めた場合は「技有り」とする。
- ⑤ 廻し回転蹴りのような捨て身技を避けて下段突きを決めた場合も「技有り」とする。捨て身技を使う場合は下段突きを決められないように素早く立ち上がること。
- ⑥ 下段や中段の合わせ技が正確に決まり一挙動で倒れた場合、「下段突き」がなくても「技有り」とする。
- ⑦ 上段への足技でバランスを崩し一挙動で倒された場合、上段部位を防御していたとしても「技有り」とする。
- ⑧ 「技有り」は2本で「合わせて一本」となる。

【反則】 以下の場合「反則」とする。

- a. 手、肘による顔面への攻撃。手先が触れても「反則」となる場合がある。但し、顔面を牽制することは自由。
- b. 手、肘による喉および首への攻撃。 c. 金的への攻撃。 d. 頭突きによる攻撃。 e. 倒れた相手への攻撃。
- f. 背骨への攻撃、 g. 頭をつけての攻撃。
- h. 手を掛けての攻撃。（ルール上、肘から上は肩とする。）
- i. 相手選手の道着、手足を掴んだ場合。
- j. 相手選手の胴体や肩を掌底もしくは拳で押した場合。
- k. 技を出さないで接近する行為。 l. 技を出して接近し、その後、前項の l と同じ状態になった場合。
- m. 膝関節に対する前蹴り、足刀、踵等による直線的な攻撃をした場合。
- n. 以上のほか、「技の掛け逃げ」など審判が特に「反則」と見なした場合。

「反則行為」は、審判団の有効規定旗数で認めた場合「注意」が与えられるが、軽微な反則、有効規定数に満たない反則の場合は主審の判断で「警告」が与えられます。（警告は判定に影響しない。）

判定基準目安

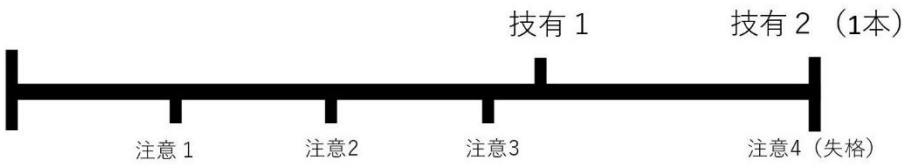
一本 > 技有 > ダメージ > 有効打 > 手数 > 積極性

- ・有効打による3秒以上のダウン
 - ・3秒以上の戦意喪失
 - ・技有 2 つ
- ・上段蹴りのダメージ
 - ・宙に浮かせタイミングの良い下段突き
 - ・一時的に動き止まる
 - ・一時的に戦意喪失
 - ・下段蹴りで足引きずる
 - ・身体がくの字になる
- ・動きが悪くなる
 - ・技が少なくなる
 - ・下がるが多くなる
 - ・苦しそうな表情を見せる
- ・ガードのない部位に的確に技を入れる
- ・的確性はないが、手数足数を出している
- ・前に出ている
 - ・離れた際、先に攻撃を出している
 - ・気合、気迫がある

注意・減点基準

注意 < 注意 2 < 注意 3 < 注意 4（失格）

判定基準の図解と注意差



- 両者の差が「注意」1つの場合は、勝敗への影響は少ないので、試合内容で判断する。
- 但し、最終延長戦において試合内容が全く互角であった場合は、「注意1」を取られた方が負けと判断する。
- ① 次の場合は「失格」とする。
- a.「警告」⇒「注意1」⇒「注意2」⇒「注意3」⇒「注意4＝失格」
 - b.試合中、審判員の指示に従わない場合。
 - c.粗暴な振舞い、とくに悪質な「反則」をした場合。
 - d.判定前に雄たけびを上げたり、「判定勝ち」「一本勝ち」「技有り」などの後でガッツポーズを試合場で行うなど、相手に対して礼節を欠く試合態度と見なされた場合。
 - e.試合出場の呼び出しを受け、その時に1分間試合場に上がることなく出場意思を示さない場合。
 - f.規定の体重をオーバーした場合。

[反則勝ち]

審判が見えなかった反則や故意ではなく反則に取りにくいアクシデントにより負傷し、回復するための時間を与えたが、大会運営上遅延可能な回復時間を経過したのちも試合続行不可能となった場合、「反則勝ち」となる。しかし、この規定で「反則勝ち」した選手は次の試合に出場することはできない。

試合時間 本戦→延長（マスト判定）

	本戦	延長戦
新人戦 全クラス	1分マスト	
初級戦～上級戦 共通		
幼年	1分	1分（マスト判定）
小学1年生～2年生	1分30秒	1分（マスト判定）
小学3年生～中学生	1分30秒	1分30秒（マスト判定）
高校生	2分	2分（マスト判定）
ミドル・マスタース	1分30秒	1分（マスト判定）
シニア	1分	1分（マスト判定）
一般 初中級	2分	2分（マスト判定）
一般 上級	2分	2分（マスト判定）

サポーターリスト

	ヘッドガード	拳サポ	すねサポ	ヒザサポ	女子チェストガード	男子ファールカップ	女子アンダガード	マウスピース	赤紐
幼年～2年生	○（面有り）	○	○	△	△	○	△	△	○
3年生～中学生	○（面有り）	○	○	○	女子○男子△	○	△	△	○
高校生男子（初級・上級）	○（面有り）	○	○	○	△	○	△	△	○
高校女子（初級・上級）	○（面有り）	○	○	○	○	×	△	△	○
女子（初級）	○（面有り）	○	○	○	○	○	△	△	○
女子（上級）	×	×	○	○	○	×	△	△	○
マスターズ～シニア	○（面有り）	○	○	○	×	○	△	△	○
一般初級・中級	×	○	○	○	×	○	×	△	○
一般上級	×	×	×	×	×	○	×	△	○

道着・サポーター類の注意事項

- ①帯留は必ず使用して下さい。
- ②ファールカップ、アンダーガードはズボンの下に着用して下さい。
- ③男子選手はTシャツ着用不可、女子選手は白色のみ可とさせていただきます。
- ④女子チェストガードはTシャツの上に着用して下さい。
- ⑤赤コーナーの選手が用いる赤紐は各自で用意して下さい。
- ⑥選手は5試合前までに該当コートへ集合して下さい。選手係は選手を探す事を行いません。

大会会場における注意事項

- ①館内は土足厳禁。各自ビニール袋をご用意の上、靴管理をお願い致します。
- ②会場出入口への靴放置はご遠慮下さい。
- ③ゴミは各自で必ずお持ち帰り下さい。公共施設敷地内は全て＜禁煙＞となります。
- ④施設駐車場は限り有。電車等の公共交通機関をご利用下さい。
- ⑤体育館関係者、大会スタッフ、審判、警備員への暴言等、非礼な振る舞いはご遠慮下さい。問題発生時には撮影保存の上、協議材料と致します。

上記に反する事項が発生した場合、所属道場単位での出場をお断りする場合がございます。

大会規定防具ガイド（着用防具はすべて各自で用意してください。）

（極真拳武會オフィシャルサポーターはすべて使用OKです。）

拳サポーター	イサミ製 品番 L-365 L-3058 もしくは上記製品に準じた物（色の指定はありません。） （ナックル部分が劣化して薄い物、著しく傷んでいる物は禁止） JKJO 指定防具の拳サポーターも可 
スネサポーター	イサミ製 品番L-227 品番L-289 もしくは上記製品に準じた物（色の指定はありません。） JKJO 指定防具も可 
ヒザサポーター	イサミ製 品番L-1221 商品名 ローキックサポーター イサミ製 品番L-120 商品名 ニーキャップガード イサミ製 品番L-1103 商品名 ニーガード もしくは上記製品に準じた物（色の指定はありません。） JKJO 指定防具も可 
金的ファールカップ 金属製カップは使用不可	イサミ製 品番L672 商品名 金的サポーター もしくは上記製品に準じた物（色の指定はありません。）
ヘッドガード （インナーシールドは任意とします。）	イサミ製 品番TT-25 かCKW-10 もしくは上記製品に準じた物（色の指定はありません。） JKJO 指定防具も可プラスチック面も可とします。 
チェストサポーター	東京堂製の心臓震盪予防サポーター JFKO（全日本フルコンタクト空手道連盟） での指定製品のみ使用可とします。 他社の類似商品は使用できません。 女子選手はイサミ製の胸ガード(TT-28)を着用の場合、 チェストサポーターの着用義務はありません。 JFKO 推奨防具 心臓震盪予防サポーター パッド部分 EVA 素材を採用し大切な胸部（心臓・肋骨）を保護します。 （素材：テレリン/スパンデックス/EVA）  ストレッチ抜群の素材を採用し着脱もスムーズ！！ 背中はストレッチメッシュ素材を使用し通気性に優れています！ 定価：本体価格 4,000 円（税込 4,400 円） ※別途送料がかかります。 サイズ：XS（胸囲 55～70cm） / S（胸囲 70～85cm） ※上記のサイズはあくまでも目安であり、必ず自分のサイズを確認してください。 サイズ別価格表：XS 1,900円/1,900円/1,210円/1,210円 / S 2,200円/2,200円/1,220円/1,220円 
女子チェストガード	イサミ製 胸ガード 品番 TT-28 もしくは上記製品に準じた物。 ※パッドが入ったスポーツブラタイプも可 
赤ひも	腰に巻く赤紐です。 もしくは帯に取り付ける形でお願いいたします。 

極真拳武會 型競技規定

1 競技の進め方 トーナメント形式とする。

(1) 予選

同時演武で対戦し、準決勝までを予選とする。予選指定型を演武し、旗判定によって勝敗を決する。

(2) 決勝

決勝戦は、指定された型、もしくは指定された型の内一つを選択して演武し、旗判定によって勝敗を決する。

判定基準	
動作の正確さ	① 立ち方、突き、蹴り、打ち、受けの技が、正しい目付の元に正確である事。 ② 中間動作が適切であり、無駄な動きがないこと。 ③ 重心の移動やバランスに優れていること。
技の緩急	① 速く動くべきところが速く動いていること。 ② 緩やかに動くべきところが緩やかに動いていること。 ③ 連続動作が用法に適したリズムで動いていること。
力の強弱	① 力のいれるべき所に適当な力が入っていること。 ② 力を抜くべき所で力が抜けていること。 ③ 技の威力が表現できているか。
息の調整	① 息吹や気合が適切にできているか。 ② 呼吸の乱れがなく、動作との調和が図れているか。

以下の項目で減点または失格とすることがある。

- ①申告(指定された)した型名と実際の演武型が異なる場合→失格
- ②演武開始時、選手が言う型名と実際の演武型が異なる場合→失格
- ③型の演武を中断した場合は失格。一時的な中断の場合は減点をする。
- ④型の動作をとばしてしまった場合→減点
- ⑤その他、主審が判断し、副審と合議の上で判断する。判断に迷う場合は、型競技審判長の裁可に従う。

競技の進行

- ① 選手は呼名されたら礼をして試合場に入り、紅白戦に立つ。
- ② 主審の「正面に礼」の号令で礼をする。
- ③ 主審が右手を上げたのを合図に型を開始する。
- ④ 型を開始する際は、
 - ・大きな声でゆっくり正確に型名を言ってから動作を開始する。
 - ・黙想が入る型は、黙想を行ってから型名を言う。

この際、以下項目に留意する事。

- ・型名を絶叫するように言う事は禁止とする。型名を聞き取れなかった場合は失格とする。
- ・余計な号令はかけてはならない。例 太極その1、【用意！】用意部分が余計である。
- ・型が終了したら自分で直り、主審の号令を待つ。
- ・主審の「判定を取ります」の号令で審判団が一斉に旗を上げる。
- ・主審の「正面に礼」の号令で、選手は礼をして退場する。

競技上の注意点

- ① 仮想敵をしっかりと捉えて動作を行えることが肝要である。目付は相手を察知する心(*1)を通して自然に行いただ凝視すれば良いわけではない。型では複数の相手を想定しているので一方の敵に対し、一旦首だけを向けあらためて動き出すような類の動きでは、見ている方以外の相手を全く意識しておらず、正しい目付とはいえないその後に繰り出される技がどんなに素晴らしくても、不正確な目付という意味で減点対象になる場合もある。

*1 平安その3第20教程目のように実際の目は正面を見ていても、心(意識)が後方の相手をしっかりと捉えているような目付もある。

- ② 相手の存在を無視したような、いたずらに足を高く上げて蹴る行為や、演武線を踏み外したような行為は、どんなに見栄えが良くとも加点にはならず、むしろ理合いの外れた不正確な動作として減点対象となる場合がある。
- ③ 動作を行うにあたり、無駄な動作や無駄な重心移動は行わない。その後に繰り出される技がどんなに素晴らしくても、無駄な動作がともなえば減点対象となる場合もある。
- ④ 立ち方が決ると同時に受ける、突く、蹴るなど、各動作に要求される要素を正しく表現出来ることが大切である。例えば、立ち方が決ると同時に突くべき動作では、立ち方が決ってから突いたのでは不正確な動作として減点対象となる場合もある。